

# 地域からあなたの未来へ

法政大学現代福祉学部  
まちづくりチャレンジ入試

## 高校時代の活動

パラリンピックスポーツをきっかけに、健常者と障がい者が共生できる地域を実現するために、ブラインドサッカーとボッチャの体験会を複数回実施しました。体験会を開催するために、スポーツ基金団体、プロパラスポーツチームなどの方々と活動しました。参加者募集は、イベント事前申込サイトやSNSを活用しました。体験会当日は、障がいの有無に関係なく、参加者全員に楽しんでいただけました。この活動はSDGs Quest みらい甲子園神奈川県大会という社会課題解決に向けたアイデアを競う大会で、全96団体の中最優秀賞を受賞しました。



体験会の様子

## 志望理由

「臨床心理」「社会福祉」「地域づくり」の3領域から、健常者と障がい者がスポーツを通じて共生できる地域づくりの方法を学びたかったためです。

「臨床心理」→自らの考えを正確に言語化することが難しい障がい者の意思を汲み、適切なケアができるようになりたいため。

「社会福祉」→障がい者が現行の行政制度を用いてどうしたらより快適に生活出来るかについての的確なアドバイスができるようになりたいため。

「地域づくり」→障がい者の充実した暮らしの実現への課題について国内外の自治体における事例などから知見を得たいため。

## 講義について

実際に地域に入って研究されている教員方が、オムニバス形式でお話をされる「コミュニティマネジメント入門」という講義があるのですが、様々なまちづくりや地域の事例が教員によって違った切り口で紹介されるため、学びになりますし、おもしろいです。

## 受験生へのメッセージ

まちづくりチャレンジ入試は、まちづくりに対する熱い思いが評価されます。地域活動に取り組んでいる方や地域社会の学びを深めたい方など、現代福祉学部での学びが皆さんの成長、将来に繋がると 생각합니다。来年、現代福祉学部で会いましょう！応援しています！

作成者 福祉コミュニティ学科1年GM  
出身地 東京都町田市

